第19 回 JCHO 登別病院 地域協議会 議事録

日時 令和6年12月12日(木)16:00~16:50 場所 JCHO 登別病院 会議室 出席者

[委員] 登別市役所 保健福祉部 部長 平田 雅樹

登別市消防本部 消防長

白老町消防本部 消防長

登別訪問看護ステーション所長

登別東町第3町会 会長

登別東町第3町会 副会長 古内 孝子

[当院] 院長

看護部長

事務長

事務長補佐(総務企画)

地域医療連携室室長

訪問看護ステーション所長 吉田加代子

沼田 久人

本間 佳令(代理:佐藤消防課長)

南 のぞみ

本田 宏

石川 典俊

沓澤 佳代子

長尾 真人

後藤 学

伊藤 洋介

1. 次第

司会·議事進行:事務長補佐 後藤

- (1) 開会
- (2) 院長挨拶
- (3) 業務報告
- (4) 訪問診療について
- (5) 質疑応答
- (6) 閉会

2. 業務報告

- 1) 業務報告:長尾事務長 (別紙参照)
 - ①入院の利用状況について
 - ②外来の利用状況について
 - ③手術・健診件数について
 - ④紹介件数・逆紹介件数について
 - ⑤内視鏡検査件数について
- 2) 訪問診療について:訪問看護ステーション 吉田所長 (別紙参照)

3. 質疑応答

- (南) 訪問診療でこの近辺の地域で、自宅で最期を看取るような方がいた場合は JCHO では対応可能か?
- (吉田) 代田医師の判断と自宅までの距離にもよる。代田医師のみでの対応のため、急な死亡などで対応ができないことが課題。その為、消防隊には病院への搬送協力いただきながら連携を図っている。
- (佐藤) 議会の中で訪問診療が議論されてているが、医師確保不足など課題もあり、今後も検討すべき案件と思う。DNAR について法整備が進んでいない状況。トラブル回避のために連携をとっているが、まずは DNAR を取っているのかどうか確認が必要。書面で取っていると思うが確認の取りようがない事例もある。
- (石川) DNAR が確認できたら対応してくれるのか?
- (佐藤) あくまで救急隊を呼ぶことは救命を希望しているということ。DNAR であることを医師に確認して指示をもらう。
- (石川) それが確認できれば何もしないで運んでくれるのか?
- (佐藤) 救急隊に指示を出す病院があり医師から指示をもらい、そのまま運ぶような指示があれば そのまま向かう。
- (石川) 医師の確認が取れれば搬送してくれるのは消防法で問題はないのか?
- (佐藤) 救急隊は搬送しなければならないが DNAR 自体が法体系の部分で整備が進んでいない 状況。
- (本田) 内科の医師割合はどのくらいか?
- (伊藤)整形が7割、内科3割程度
- (石川) 医師は整形4人、内科2人、回復期1人。病棟の半分が回復期リハで残り半分が内科や救急での役割でベッド利用率は90%を超えているので調整が難しいこともある。
- (平田) 市の健康計画 10 年が終わりを迎える時期となり、新たに次年度から計画推進が始まるので JCHO でもご協力お願いしたい。
- (古内) 内科は白老方面。外科は JCHO と思っている。高齢者は通院が大変。
- (石川) 内科医師確保が困難な状況。市の方にも協力をお願いしている。現在、東クリニックも休 診しており外来が混んでいる状況。
- (佐藤) 救急要請の際、病院によりかかりつけについて、受診する期間でとらえ方が違うと感じている。何か考えがあるか?
- (石川) 医師会の考えでは3か月となるが受診している内容にもよると思う。
- (後藤) 医師確保については、この地域としても医師の希望などと合致することが難しく大変厳しい状況にある。
- (伊藤) 地域住民向けの講座を企画していきたいと考えているが現在そのような定期的な集まり はしているか?
- (本田) 老人クラブなど月1回集まりある
- (伊藤) もし可能であればお呼びいただきお話させていただきたい。
- (後藤)以上で第19回地域協議会を終了します。次回6月書面開催、12月に集合での開催を予定。引き続きご協力をお願いしたい。